

会議の結果報告

名称	令和8年度 玉川地区学校適正配置地元代表協議会【第4回】	
開催日時	令和8年5月28日(木) 19時00分～21時00分	
開催場所	玉川支所 2階 大ホール	
出席者	<b>【委員】</b> 会長 外21名(教育長、副教育長を含む) ※2名欠席(九和小学校PTA、九和保育所保護者代表) ※2名オンライン出席(日の出保育所保護者代表、 九和保育所保護者代表)	
	<b>【その他】</b> 玉川支所長	
	<b>【事務局】</b> 今治市教育委員会教育政策局長 外8名	
傍聴者	なし	
議題	1	委員交代のお知らせ
	2	小学校PTA総会での説明について
	3	望ましい学校のあり方について
	4	意見交換
議事内容	1	<b>委員交代のお知らせ</b> ----- 令和8年度の委員交代、変更について事務局から説明した。
	2	<b>小学校PTA総会での説明について</b> ----- 事務局から、鴨部小学校のPTA総会で行った説明会について報告した。
	3	<b>望ましい学校のあり方について</b> ----- 事務局から、保護者アンケート結果報告、両小学校の特色、統合による具体的なメリット・デメリット、集会所から学校までの距離の図、小中一貫レイアウト案、今後のスケジュールについて説明した。
	4	<b>意見交換</b> ----- ① 統合の是非、統合場所、小中一貫化の是非、魅力化・特色化という項目のうち、何から整理すべきかについて議論があった。 保護者および地域から、よりよい教育環境という観点で統合の是非、小中一貫化の是非を考えるべきという意見が出た。 一方、小中一貫化の是非については、一貫化することで中学校を含めた玉川地区の学校存続を図りたいという意見が出た。よりよい教育環境という観点と、地域に学校を残したいという観点が、小中一貫化に関する論点となり、小中一貫化した場合の教員(運営)にとってのメリット・デメリットについての資料と、将来的に中学校が過小規模化した場合の運営可否等について資料を求められた。 ただし、小中一貫化しても、現時点では中学校の存続可能性は確実と言えないという考えから、小中一貫校が将来的に再び分離する可能性が

	<p>あるなら、小中一貫化は避けるべきではないかという意見もあった。</p> <p>② 検討項目の順序については、互いに関わり合っており、各委員から様々に意見が出た。</p> <p>前年度から引き続き参加している委員からは、小学校施設での統合でも小中連携はできる中で、あえて中学校が統合場所の候補に挙がったのは、教育的観点ではなく、立地の観点が始まりだったと指摘があった。</p> <p>教育環境の議論と、統合場所決定の議論は同時進行的であることから、次回協議会では、事務局から、統合場所ごとに考えられる取り組みについての資料を提示し、判断材料を得て議論することとなった。</p> <p>③ 会長から、玉川に学校を残すために魅力化・特色化をしたいと発言があり、具体的なアイデアが提案された。これをうけて、教育環境にいかにか付加価値をつけるか、保護者、地域、学校、教育委員会が一体となって考える必要があると意見が出た。</p> <p>④ (保護者意見) 今回の保護者アンケートには、保護者の思いがよく出ているが、全ての意見を網羅しているわけではない。アンケート結果は統合場所を決定するものではなく、あくまで参考意見として見ていただきたい。</p> <p>⑤ (保護者質問) 中学校施設に統合した場合、運動場の駐車場は足りるのか。また、低学年のプールはどうするのか。</p> <p>▶事務局から、駐車場は九和小学校のグラウンド活用が考えられること、プールは小学生用に底上げ等で対応するほか、九和小学校のプールを使う方法も考えられることを回答した。</p> <p>⑥ (副会長質問) 統合場所の最終決定の手法はどうするか、スケジュール通りになるか。</p> <p>▶事務局から、手法に決まりはないが、協議会の委員だけで決定したとはならないようにしたい。スケジュールは統合を1年早める場合を想定したものだが、早く決まれば統合準備会期間が増えると回答した。</p> <p>⑦ (自治会要望) 玉川町内の人口を増やすため、市街化調整区域の見直しをしてほしい。</p> <p>⑧ (自治会要望) 愛媛県内の小中一貫校について、現場の声を知りたい。</p>
備考	<p>次の開催は、令和8年7月15日(水)午後7時から玉川支所2階大ホールを予定。</p>